

広報のほりべつ

市の人口

(2月末現在)

総人口	51,944	(14減)
男	25,955	(9減)
女	25,989	(5減)
世帯数	15,350	(3増)

()内は前月との比較増減

●No.207 ●毎月1日・15日発行 編集発行/登別市中央町/登別市総務部公聴広報課



市民の森と河川公園

幌別ダム周辺に計画

市では、手軽なレクリエーションの場として、幌別ダムの周辺に市民の森や河川公園を今年度から整備していく計画です。

市民の森は、ダムの東側の市有地約十六万平方メートルを利用して造成する予定で、結婚など、市民の祝事のために記念植樹してもらう「結婚の森」などを、年次計画で造ります。また、広場やあずまや、遊歩道を敷設して散歩を楽しんでもらうことにしています。

さらに、ダム下流の幌別川敷地一帯を、関係機関と協力して整備して、河川公園にする計画で、今写真裏を作成中です。

これらを実現しますと、ダム一帯は、自然に恵まれた美しいレクリエーション地帯に、生まれ変わります。

上の写真は、今年度計画している市民の森の現地を、航空写真で約一三七〇メートルの高さから、撮影したものです。

1976
4.1

胆に新しい市政を

—市民参加で住みよい郷土に—



市長 田村仙一郎

基本理念

温かい心が通いあう社会へ

第一回定例市議会は、三月八日から二十六日まで開かれ、この中で、田村市長の昭和五十一年度の市政執行方針演説が行われました。
内容は、「生活優先」「市民主体」「中道、公平、清潔」を基本として、「これからの市政は、単なる継続的行政でなく、新鮮な感覚と大胆な発想に基づく。新しい登別市政への転換でなければならぬ」と意欲的なものとなっています。以下、概要をお知らせします。



お年寄り、心身障害者など社会的弱者にも生きがいと希望の施策をすすめます。

基本方針

新しい登別市政へ転換

「市政の主人公は市民である」ことを、基本理念とし、市民が明日への限らない希望にあふれ、健康で豊かな社会生活をおくれるよう、市民優先、生活重視の市政をすすめてきました。
今後、「安全が保たれ安心して暮らせる社会と、積極的な対話行政による市民への奉仕の姿勢」、「社会福祉が充実し、思いやりに満ちた愛情のある行政」、「快適で文化的な生活ができ、まじめに働く人々が報いられる社会」。

このような、自治意識の前進により、自治の振興をはかるには、市民みんながそれぞれの立場において、市政に参加することであり、私は、特に次代を背負う青年の若々しい情熱、婦人の細やかな愛情、地域の自治に日夜活躍されている町内会の役員、さらには、老人の尊い経験に基づく意見を、市政に反映させることが大切であると考えます。

戦後の荒廃から、戦災復興、経済の高度成長下での大量消費、物価高騰、そして、総需要抑制策による減速経済への急転による景気の停滞という激しい社会の動きの中で、国民生活は極めて流動的に変化を重ねています。
いま、人間社会の構成は、戦前生まれから、その大半が戦後生れに変革しつつあり、生活様式や国民意識についても、大転換期に当たっています。
したがって、これからの市政は単なる継続的行政ではなく、新鮮な感覚と大胆な発想に基づく「新しい登別市政」への転換でなければなりません。
それには、「調和のとれた生活環境と生活不安の解消」をはかることであると考えます。
このような観点から、私は今日まで「人間優先、生活重視の市政」を、すすめてきました。
今後さらにもこの姿勢を徹底します。そして、誰もが「住んでよかった登別」にしたいと思えます。また、「市民主体の市政」を、市政はあくまでも市民のためのものではないと、せん。

したがって、「市民との対話」と立案形成への参加による市政を一段と前進させ、市民と一体となった市政の執行に努めます。
次は、「中道、公平、清潔」な市政ですが、正しく清潔な市政を行うためには、首長は常に公正な姿勢に徹し、事に当らねばなりません。
市民一人ひとりが、異なった主義主張をもつことは、当然のことです。しかし、市政にあつては、あらゆる意見、要望を公平な立場で判断し、かつ正しくこれを取り入れることが必要であります。

緊急課題

物価・不況・公共料金

以上、市政執行の基本的方針について申し上げましたが、その実現のために、昭和五十一年度予算は、健全財政を基調としながら、住民負担を極力抑制し、あらゆる財政手段による創意工夫を活用して、効率的、かつ実質の伴ったものと、緊急の度合いを勘案のうえ、市民の要望に応えるべく、積極的に配慮しました。
では、当面の緊急課題について申し上げます。

第一は、業界の協力のもとに、肉の日、野菜の日、魚の日を拡大充実し、流通の円滑をはかって、生鮮食糧品等の確保と、価格の安定に努力します。

第二は、灯油の値上げ抑制については、監視や業界に対する行政指導を強化するほか、必要により物価安定資金の活用などによって、値上げ抑制に努めます。

昭和51年度登別市各会計予算

(単位千円)

会計区分	昭和51年度予算額	昭和50年度 6月補正後予算額	補正予算比較増減	
			増減額	増減率
一般会計	6,705,000	5,408,000	1,297,000	24.0%
特別会計	国民健康保険	396,064	222,747	56.2
	観光事業	107,473	9,490	8.8
	学校給食	230,117	44,637	19.4
	区画整理	408,009	△172,009	△42.2
	小計	1,141,663	104,865	9.2
合計	7,951,528	6,549,663	1,401,865	21.4

区分	昭和51年度予算額	昭和50年度 6月補正後予算額	補正予算比較増減	
			増減額	増減率
水道事業	165,185	184,955	△19,770	△10.7%
業会計	74,000	36,300	37,700	103.9
資本的支出	239,185	221,255	17,930	8.1
計				

等と地域格差の是
校舎の整備充実
増改築さらに備品
実により予算を増額し



24%増(前年6月比)の積極予算

西小分校新設・ゴミ焼却炉建設などに81億9千万円

住みよい登別建設に
効率的な編成

昭和五十一年度の予算案は、三月八日から開会された第一回定例市議会にて審議されました。

昭和五十一年度予算は、厳しい地方財政状況の中で、一般会計予算案は、総額六十七億五千万円で、五十年年度予算六月補正時点のものに比べ、二四%と、他市町村にあまり例をみない伸びをみせています。

また、民間資本を導入して振興公社を新設し、道路舗装など六億円の事業を行う計画です。

そして、本年度予算は、健全財政を基調としながら、住民負担を極力抑制し、あらゆる財政手段による創意工夫を活用して効率的、かつ実質の伴ったものとし、緩急の度合いを勘案のうえ、市民の要望に応えるべく、積極的に配慮しています。

この結果、一般会計はじめ、国保、観光事業、学校給食、上郷別東部地区土地区画整理事業の各特別会計を合わせると、七十九億五千五百二十二万八千円になります。

このほか、水道事業会計予算では、二億三千九百八十八万五千円となり、今年重点施策である、生活環境整備、住民福祉、教育施設の整備と三つの柱を積極的に進めます。

それでは、昭和五十一年度予算の中から、主なる事業予算の内容をお知らせします。

昭和51年度一般会計予算款別前年度比較表

(歳入)

(歳出)

(単位千円)

款別	本年度予算額		前年度6月 補正後 予算額	比較増減	前年度 伸率	款別	本年度予算額		前年度6月 補正後 予算額	比較増減	前年度 伸率
	予算額	構成比					予算額	構成比			
1市	1,451,125	21.6	1,350,000	101,125	7.5	1議会費	60,015	0.9	61,512△	1,497△	2.4
2地方譲与	33,800	0.5	20,660	13,140	63.6	2総務費	684,393	10.2	513,253	171,140	33.3
3娯楽施設	2,800	0.0	3,740△	940△	25.1	3民生費	1,193,297	17.8	1,102,258	91,039	8.3
4自動車取得	40,000	0.6	23,760	16,240	68.4	4衛生費	372,597	5.6	137,840	234,757	170.3
5国有提供施設	343	0.0	270	73	27.0	5労働費	181,625	2.7	151,050	30,575	20.2
6地方交付税	1,090,000	16.3	1,030,000	60,000	5.8	6農林水産業費	53,651	0.8	49,408	4,243	8.6
7交通安全	6,500	0.1	5,000	1,500	30.0	7商工費	163,159	2.4	128,431	34,728	27.0
8分担金及び	39,838	0.6	41,480△	1,642△	0.4	8土木費	1,065,974	15.9	926,421	139,553	15.1
9使用料及び	155,760	2.3	103,336	52,424	50.7	9消防費	40,287	0.6	44,083△	3,796△	8.6
10国庫支出	1,687,291	25.2	1,186,679	500,612	42.3	10教育費	1,074,784	16.0	656,564	418,220	63.7
11道支出	136,338	2.1	151,385△	15,047△	1.0	11公債費	424,422	6.3	333,165	91,257	27.4
12財産取	69,016	1.0	240,402△	171,386△	71.3	12諸支出	13,000	0.2	0	13,000	皆増
13客附	7,501	0.1	4,000	3,501	87.5	13給与	1,372,796	20.5	1,281,015	91,781	7.2
14繰入	221,000	3.3	166,500	54,500	32.7	14予備	5,000	0.1	3,000	2,000	66.7
15繰越	5,000	0.1	45,500△	40,500△	89.0	0災害復	0	0	20,000△	20,000	皆減
16諸取	887,588	13.2	518,388	369,200	71.2						
17市債	871,100	13.0	516,900	354,200	68.5						
歳入合計	6,705,000	100.0	5,408,000	1,297,000	24.0	歳出合計	6,705,000	100.0	5,408,000	1,297,000	24.0

守ろう 新入学児童

春の交通安全運動



そのために、次の事項は確実に守りましょう。

北海道にも、ようやく春がおとずれようとしていますが、今年も四月六日から十五日までの十日間にわたり、「春の交通安全道民ぐるみ運動」が展開されます。

- 道路では遊ばないこと。
- 道路を横断する時は、必ず左右の安全を確認し、横断歩道を渡ることに。
- 車の直前直後の横断をしない。
- ▽家庭

救急車の利用は正しく

この運動の重点目標は、四月から小学校、保育所、幼稚園に入る児童や幼児を、交通事故の危険から守ろうというものです。

救急車の出動件数は毎年増加の一途をたどっていますが、これら出動の中には、救急業務に当たらない場合でも要請されることもあり、真に緊急を要する傷病者の搬送に支障を生じることがあります

救急業務では搬送の対象となる「傷病者」を、おおむね次のよう

- 家庭の大人が手本を示すこと。
- こどもの一人歩きをさせない。
- 「事故防止は家庭から」の思想を自覚させること。
- ▽運転者
- こどもには、特に気をつけ、歩行者のルール義務を絶対あてにしないこと。
- 飲酒運転、スピード違反は絶対にしてはいけないこと。
- 私たちが登別市民も、こどもからお年寄りまで、すべての方がこの運動に参加し、交通事故防止に協力しましょう。
- ※昨年一年間で、百七十三名の方が市内で死傷しています。万一にそなえ、家族ぐるみで市民交通傷害保険（市交通安全係と各支所で受け付け中）に加入しましょう。
- 屋外での事故：交通事故、工事現場などの労災事故その他屋外での作業や運動競技などで負傷したり急病になったとき。
- 公衆の出入りする場所での事故：興業場、学校、百貨店、駅、競技場などで負傷したり急病になったとき。
- 家庭内での事故：室内での負傷及び毒物中毒、ガス中毒、やけど、異常分娩等の急病で、ほか搬送の手段がなく、急いで医療機関へ搬送しなければならぬとき。
- ▽救急車を呼ぶときは
- 局番なしの119番で、次のことを簡潔明瞭に、落ちついて知らせてください。
- 所在、目標（大きな建物では階層、室番号を、目標のないところでは案内人を出す）
- どんな事故か。
- 傷病者は何人か。

歩兵八九連隊戦没者の関係者はご連絡を

旧満州国東安第七八〇部隊歩兵八九連隊に入隊し、その後、沖縄、サイパン、北支、南方諸島に転戦して戦死した方たちの、慰霊碑を八九会北海道事務局で建立中です。

関係者はご連絡ください。

▽連絡先

市福祉事務所社会課管理係（電話五局二二一内線三三九）

畜犬登録と狂犬病予防注射

春の畜犬登録と狂犬病予防注射を、次の日程で行います。

犬を飼っている方は、もれなく登録と注射をしてください。

▽登録料

新規 一頭三百円
更新 一頭二百円

▽注射料 一頭六百円

※登録及び予防注射をしないで、人、家畜に危害を加えた犬は、殺処分することがありますので、必ずお受けください。

なお、畜犬であっても、けい留（おり飼、二層以内のケサリ、もしくは、網などでつないで飼う）していない犬は、野犬とみなして殺処分しますので、必ずお受けください。

グリーンパトロール 隊員を募集

お子さんをグリーンパトロール隊に入隊させませんか。

年生までですが、六年生が中学生（特別隊員）となり、隊員に欠員が生じたので、欠員の補充募集をいたします。

この隊の隊員は、ベレー帽にネッカーチーフの服装で「明るい、豊かなまち」をつくるため、いろいろと活躍しています。

- ▽募集人員と申し込み場所
 - 登録温泉地区 二十名温泉支所
 - 登録地区 二十名登録支所
 - 登録地区 三十名登録支所
 - 幌別地区 三十名市役所都市建設課
- ※後日入隊式を行います。
(登別市民憲章推進協議会緑化推進部)

月日	曜日	実施時間	実施場所
4.12	月	9:30	美園町美不二遊園前
		10:40	美園町三丁目 ひまわり園前
		11:30	若草町六丁目 高橋商店前
		12:00	新生町三丁目 千代の台団地
		14:30	幌別町一丁目 幌別郵便局前
		16:00	登別支所前
		18:00	はまなす団地 横山商店前
		9:30	富浜児童館
		10:50	富浜小学校前
		13:00	富浜小学校前
		14:30	富浜小学校前
		15:00	富浜小学校前
		16:00	富浜小学校前
		17:00	富浜小学校前
		18:00	富浜小学校前
		19:00	富浜小学校前
		20:00	富浜小学校前
		21:00	富浜小学校前
		22:00	富浜小学校前
		23:00	富浜小学校前
		24:00	富浜小学校前
		25:00	富浜小学校前
		26:00	富浜小学校前
		27:00	富浜小学校前
		28:00	富浜小学校前
		29:00	富浜小学校前
		30:00	富浜小学校前
		31:00	富浜小学校前
		32:00	富浜小学校前
		33:00	富浜小学校前
		34:00	富浜小学校前
		35:00	富浜小学校前
		36:00	富浜小学校前
		37:00	富浜小学校前
		38:00	富浜小学校前
		39:00	富浜小学校前
		40:00	富浜小学校前
		41:00	富浜小学校前
		42:00	富浜小学校前
		43:00	富浜小学校前
		44:00	富浜小学校前
		45:00	富浜小学校前
		46:00	富浜小学校前
		47:00	富浜小学校前
		48:00	富浜小学校前
		49:00	富浜小学校前
		50:00	富浜小学校前
		51:00	富浜小学校前
		52:00	富浜小学校前
		53:00	富浜小学校前
		54:00	富浜小学校前
		55:00	富浜小学校前
		56:00	富浜小学校前
		57:00	富浜小学校前
		58:00	富浜小学校前
		59:00	富浜小学校前
		60:00	富浜小学校前
		61:00	富浜小学校前
		62:00	富浜小学校前
		63:00	富浜小学校前
		64:00	富浜小学校前
		65:00	富浜小学校前
		66:00	富浜小学校前
		67:00	富浜小学校前
		68:00	富浜小学校前
		69:00	富浜小学校前
		70:00	富浜小学校前
		71:00	富浜小学校前
		72:00	富浜小学校前
		73:00	富浜小学校前
		74:00	富浜小学校前
		75:00	富浜小学校前
		76:00	富浜小学校前
		77:00	富浜小学校前
		78:00	富浜小学校前
		79:00	富浜小学校前
		80:00	富浜小学校前
		81:00	富浜小学校前
		82:00	富浜小学校前
		83:00	富浜小学校前
		84:00	富浜小学校前
		85:00	富浜小学校前
		86:00	富浜小学校前
		87:00	富浜小学校前
		88:00	富浜小学校前
		89:00	富浜小学校前
		90:00	富浜小学校前
		91:00	富浜小学校前
		92:00	富浜小学校前
		93:00	富浜小学校前
		94:00	富浜小学校前
		95:00	富浜小学校前
		96:00	富浜小学校前
		97:00	富浜小学校前
		98:00	富浜小学校前
		99:00	富浜小学校前
		100:00	富浜小学校前

郷土史探訪①

滝本金蔵と登別温泉

滝本金蔵という人は、元来大工職だったという。文政九年（一八二六年）三月十五日、いまの埼玉県児玉郡本庄村に生れ、旧姓を野村といったが、青年のころ小田原に出て働いているうちに、料理店橋本屋（滝本家）の看板娘さだ子さんをみごと射止めて入婿になった。

安政五年（一八五八年）三十三歳の時、幕吏荒井小一郎が箱館奉行つきになって、渡道するのにつれて、長万部村に移住したのが本道に足を止める動機であった。

登別温泉開祖として滝本金蔵の名譽は永久のものですが、同時に金蔵は国鉄駅前市街地を展開している登別温泉の玄関口である「登別町」の開祖でもあるのだ。

安政のはじめ、いまの登別町に牧場と農業をかねた大農場を開いた。フンベサバ（駅裏の石山）でかこまれ、しかも河水の豊富な登別の地形が必ず農牧に適すると見て、かなりの私財を投じ、牧夫や農夫も郷里から連れて来たのである。

彼はクスリエサンベツ（薬湯の流れる川）に湯ざやを設け、農場

経営のかたわらこれを経営した。明治初年ころまでは、毎年夏だけの経営で、食糧一切は登別の農場から届けていた。放牧していた二百頭からの馬のうち適当なのを引き出して、客も乗せれば荷物も運んだ。道路と名のつくほどのものはなく、ヤブ原を踏み分けた小道に過ぎないから、馬の背に積み分けた駄鞍（だくら）で運んだのである。湯宿は滝本金蔵が経営していた「滝本館」がただ一軒。ささやかな湯宿であった。秋が深まると館主も湯治客も皆引きあげてしまふ。館主一家は下の村（現登別町）に住居を持っていたが、春ともなれば、また駄鞍に米、ミソなどの日用品をつけて温泉場へのぼつて来る。夏場の湯治客は平均三十人位のものであったという。

それからしばらくして「円太郎馬車」が走る。四人乗りの客馬車のことである。駈者（ぎよしゃ）台に腰かけた馬夫が馬を追うかわら、「テートー」「テートー」とのんびりしたラッパを吹く。昔、豆腐屋が吹いていたあのラッパだ。がこのラッパを円太郎という落語家が寄席（よせ）に持ちこんで客馬車風景を演じたので、ついに円太郎馬車と呼ばれるようになったのだという。

二里半の山坂道を、この円太郎馬車にゆられて、腰が痛くなるころ、ようやく温泉場にとどり着いた。明治時代の登別は、さぞかしのんびりした湯治場だったろう。この幼稚な円太郎馬車が温泉へ通い出したのも、実に明治もなれば以上経過した二十四年の夏からであった。この年から客馬車が通うようになったのは、その前の年から岩見沢、室蘭間の鉄道工事がはじまり、炭鉱鉄道会社の高級社員や、技師達が工事監督の思ひきに湯治にくるし、大工の棟梁、さては怪我人の保養にも利用されるという訳で、いつまでも夏だけ馬車で通う原始的温泉にしておけなかつたからである。

さて、いよいよ温泉場で冬越しすることにしてみると、建物は板ズクリ一枚のチャチなものだし人家もまれで、住民は寒さにこごえた。明治二十七年の冬は特に寒く、酒も油もみな凍って、廊下を拭けば直ぐ凍ってしまうので、掃いたきりで冬を通したものだという。もち論、そのころは滝本館にも内湯は無かった。昭和三十三年頃までのカルルス温泉のように、ぞいの外湯へ通ったものである。滝本金蔵が最初にこしらえたのは「滝の湯」と、その直ぐ隣の「塩湯」であった。湯沢神社下の橋を渡ると、すぐ目の下に、数本の勢いの良い湯滝がかかっており頭から手ぬぐいなどを冠った男女が、通行人の遠目なども気にせず

さも心地良げに肩や背を打たせていたものであった。この露天の湯滝は、昭和十二年大浴場が完成するまで登別名物の一つで、絵葉書やポスターには、必ず加えられた景色であった。湯ざやには、さすがに屋根がふいてあり、男女別々の浴槽はあったが、地獄谷から流下する硫黄泉

をそのまま流しこんだとしても殺風景な浴場であった。塩湯の湯ざやは滝の湯より一まわり小さかったが、湯が透明で肌ざわりが柔かいところに特長があつて、濃厚な硫黄泉にあきて「真水の風呂」にあこがれている土地の子が好んでここに入浴したものであった。

文化短信

社交ダンス教室

社交ダンスを覚えたい方々のために、次のとおり教室を開きます。

- 期日：四月十二日から二十四日まで計七回
- 時間：十八時～二十一時
- 会場：中央公民館二階
- 主催：登別社交ダンス愛好会
- 講師：西原圭一

ご寄贈ありがとうございます

のぞみ園へ

未来の登別を築く会殿・七七九
九一元、原智恵子殿・三万円、対
馬建設殿・二二七三九円、高野卯
一殿・三万円

山瀬隆幸殿・十万円、坂本博
十万円

社会福祉協議会へ
愛情銀行

登別民謡連合会殿・三万円、大
沢京子殿・二千六百十六円、備上
田商會若葉会殿・六千七百八十一
円
古切手寄贈

をそのまま流しこんだとしても殺風景な浴場であった。塩湯の湯ざやは滝の湯より一まわり小さかったが、湯が透明で肌ざわりが柔かいところに特長があつて、濃厚な硫黄泉にあきて「真水の風呂」にあこがれている土地の子が好んでここに入浴したものであった。

内容：ブルースほか
定員：五十名（申し込み順）
受講料：五〇〇円
申し込み方法：氏名、住所を電話、またはハガキで四月十一日まで申し込むこと。
申込先：登別市教育委員会 社会教育課（電話：2111 内線352）
なお、登別社交ダンス愛好会では、毎週金曜日、十八時より中央公民館で、例会を開いていますので、多数の方の入会をおすすめします。

みどり市を

開催

本年も関係業者の協力を得て、市民のみなさんに苗木等を、市価より安く販売する「みどり市」を開催することになりました。

明るく、住みよいまちをつくるため、隣近所おさそい合せの上ご家族おそろいでお越しください。

▽日時
○四月二十四日～五月一日
常盤公園内（市立図書館横）
○五月十二日～五月十六日
美園町一丁目イーストショップ前（旧イースポール前）
※みどりの相談所を開設していますので、お気軽にご相談ください。

なお、毎年同一時期に開催しますので、承知おきください。

主催：登別市民憲章推進協議会
後援：登別市
主幹：道南花木生産・販売組合



おしらせ

赤ちゃん検診

市では、医師、保健婦、栄養士による赤ちゃん検診を次の日程で行いますので、受診者は必ず母子手帳を持参ください。

▽内容
計測・診察・栄養指導・育児指導
▽用意するもの
換えオムツ、バスタオル

赤ちゃん検診日程

(※登録地区は2ヶ月に1回実施しますので5月に予定しております)

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区	対象児
4月20日	12:15~12:45	鷺別公民館	鷺別地区	昭和51年生 1月
4月21日	〃	中央公民館	幌別地区	〃

健康相談

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談に応じています。四月の相談日は次のとおりです。ぜひご利用ください。

- ▽実施月日・受付時間
- 四月八日・十五日・二十二日
- 午前の部 十時~十時三十分
- 午後の部 一時~一時三十分
- ▽内容

○午前：成人病相談（生活・食生活指導）妊婦相談・家族生活相談
○午後：赤ちゃん相談（六ヶ月児九ヶ月児）その他相談のある乳幼児（育児指導）

▽場所
中央公民館和室

予防接種

四月中の予防接種を次の日程で行いますので、次の点に注意してお受けください。

- 三種混合の対象児
- 第一期 生後二十四ヶ月~三十四ヶ月未満の乳幼児
- 第二期 生後二十四ヶ月~四十八ヶ月未満の乳幼児
- ▽接種上の注意
- 体温は必ず家で計ってくださること
- 母子手帳を必ず持参ください。

実施場所	時間	子 防 接 種 名		
		三種混合	ジフテリア	破傷風
ひまわり園	1:00~1:30	4月7日		
鷺別支所	2:00~2:30	4月7日		
富浜児童館	1:00~1:30	4月6日		
中央公民館	1:00~1:30	4月15,22日	4月15日	4月15日
商工会館	1:00~1:30	4月8日	4月8日	
登別支所	1:00~1:30	4月7日		
登別温泉支所	2:00~2:30	4月6日		

市に關係ない 避妊具の販売

最近、避妊具の戸別販売の際に市が関係しているように言われて販売しているが、どうなんでしょうか。という問い合わせがありますが、市

胃の集団検診 を受けよう

市では、北海道対がん協会の協力を得て、今年も次の日程により胃集団検診（五十一年度第一次）を行いますので、希望者は早めに申し込みください。

日程の都合上、各日とも百名になり次第締め切らせていただきます。

▽対象者
満三十五歳以上の方（両親や近親者ががん等の疾病のある方は、三十歳以上）

▽検診料
国民健康保険加入者五百四十円
生活保護世帯 八百円
受診当月七十歳以上 八百円
一般（右記以外） 一千八百円

▽申し込み期間
四月一日~五月十日まで

▽申し込み先
市保健衛生課（5局211）
各支所（最寄りの支所）に申し込みください。

※国民健康保険で受診される方は必ず保険証を持参ください。
※五十一年度第二次胃集団検診は十一月五日~八日に予定しています。

二歳児の歯科検診

市では、歯科医師、歯科衛生士保健婦による二歳児歯科検診を無料で行います。

二歳のお子さんとお母さん達に對して、歯の知識普及、フッ素塗布など企画していますので、検診にもれなくお越しください。
▽対象児
昭和四十八年十月一日から昭和

では一切関係していませんので、お知らせいたします。
(保健衛生課)

四十九年三月三十一日までの出生児
▽母子手帳と、今お子さんが使用している歯ブラシを持参ください

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区
4月9日	12:30~13:00	登別温泉支所	登別・上登別・カルルス・中登別
13日	〃	登別公民館	富別・登別本・登別東・登別港・登別西
14日	〃	中央公民館	富士・新栄・榎木・幌別・幸・千川上
16日	〃	〃	柏木・常盤・中央・片倉・新川・蘆山・青葉(若山)
23日	〃	鷺別公民館	鷺別・上鷺別・大和・新生
27日	〃	〃	美園・富岸・若草・若

国民健康保険証 を確認します

現在使用されている保険証は、四月三十日まで検認されませんと五月から保険証を使用することができなくなります。

次の日程で検認いたしますので、保険証と印鑑を持参の上、指定の場所へ検認を受けてください。
※保険税未納の方は、検認の時に完納いたします。

訂正

三月十五日号でお知らせした、「地方税法の改正」で、「...老年者で年金、恩給で生活している方は、百九十八万円以下であれば...」中、百九十八万円は、百二十万円以下の誤りでしたので訂正してお詫びします。

道が中小企業者対策の一環として、例年行なっています中小企業年度末金融を、本年も次のとおり行いますのでご利用ください。

○融資対象
市内中小企業者（中小企業等協同組合法に基づく組合を含む）ただし、遊興娯楽などの業種は除きます。

○融資金額
一企業 七百万円以内
組合 一千万円以内
(転貸の場合は二千万円以内)

○資金使途
運転資金

○融資期間 一年以内

○融資利率
各取扱金融機関の利率による

○担保 原則として担保必要

○信用保証
○全て道信用保証協会の保証付

○保証料率
無担保無保証人保証は年〇・七二割で、一般保証は年一・二一割

○申し込み期間
四月三十日までです。

○申し込み先
北海道銀行、北海道相互銀行、室蘭信用金庫、室蘭商工信用組合

※その他不明なことがありましたら、市商工振興係（電話五局二一一一内線二七三）までお問い合わせください。

中小企業者へ 金融のご案内

月日	実施場所	時間
4月23日	若山町(一部)・大和町(一部)・栄町(一部)・新生町(一部)・富岸町	10~16
4月22日	幌別町・千歳町・新栄町・幸町(一部)・中央町・常盤町	10~16
4月21日	柏木町・蘆山町・片倉町・富士町・米馬町・新川町・榎木町・青葉町・緑町・川上町・大和町(一部)・若山町(一部)	10~16
4月19日	富浜児童館	10~16
4月16日	老人憩の家	10~16
4月15日	登民会館	10~16
4月14日	登別本町・登別東町・登別港町・札内町・中登別町(一部)	10~16
4月13日	登別温泉町・上登別町・中登別町(一部)	10~16
4月9日	カルルス町	11~14
4月8日	鷺別町・栄町(一部)	10~16
4月7日	ひまわり園	10時~16時
4月6日	新生町(一部)	